

社会福祉法人 稲美町社会福祉協議会

令和元年度事業実績報告書

1 在宅福祉サービスの推進

(1) 職員の構成（令和2年3月31日現在）

事務局	居宅介護支援事業所	訪問看護事業所	訪問介護事業所
10名	4名	13名	13名
小規模多機能居宅介護事業所		療養通所介護事業所	
21名		11名	

(2) 居宅介護支援事業所こぶしの活動状況

《事業の概要》

要介護者や要支援者からの相談を受け、自立した日常生活を営むのに必要な援助に関する知識、技術を有したケアマネジャーが、心身の状況に応じた適切なサービスが受けられるようにケアプラン（介護サービス等の提供についての計画）を作成し、連絡調整等を行っています。

主任ケアマネジャーの研修を受けた者を配置し、24時間の連絡相談及び実習生の受け入れや特定事業所加算を取得した他事業所との研修会を計画し参加しています。

《現状と課題》

昨年度のケアマネジャー全国受験者数、合格者はともに6割以上減っています。その背景には、受験対象資格が大幅に変更となったことや、3年に1度の介護保険制度の見直し、それに伴う事務業務が膨大になっていること、職種としての守備範囲が不明確で割に合わないなどケアマネジャーの仕事自体の魅力が減少したと言われており、ケアマネジャーが減り続けて行くことも予想されています。しかし、数年後には高齢者が3人に1人となります。

私たちケアマネジャーは、住民の方々が、住み慣れた場所で暮らしていくことやどこで最期を迎えるかの決定支援をしていく上で、介護保険だけに留まらず高い介護と医療の専門的知識や課題分析力等資質の向上、さらに医療分野等と広く連携する力を研鑽していくことが課題です。

① 介護相談 延 63 件（ケアマネジメント依頼：49 件、介護：6 件、認知症：8 件）

* 介護相談重複の内容

末期で訪問看護、独居で社協との連携、暫定利用、遠方に住む家族の不安など

② 友愛訪問 27 件 (自宅 : 11 件 その他 : 16 件)

* 入院中や独居でサービスを利用せずに過ごしている方への訪問

③ ケアプラン作成状況 (延べ件数) 新規 : 32 件 終了 : 20 件

(令和元年度)

	要支援	要介護Ⅰ	要介護Ⅱ	要介護Ⅲ	要介護Ⅳ	要介護Ⅴ	合計
件数	450	268	247	188	126	64	1,343

(平成 30 年度)

	要支援	要介護Ⅰ	要介護Ⅱ	要介護Ⅲ	要介護Ⅳ	要介護Ⅴ	合計
件数	375	301	283	212	103	81	1,355

④ 担当者会議 204 件

⑤ 医療連携 (入院時情報提供) 78 件

⑥ 退院前カンファレンス参加 25 件

⑦ 要介護認定訪問調査 町内 : 0 件 町外 : 19 件

⑧ 研修・出張状況

月 日	研 修 名
4/17~7/2	2019 年度 主任介護支援専門員 研修 A コース全 12 回
5/28	介護支援専門員協会 南播磨支部 2019 年度総会及び記念講演 3 名参加
6/19	気づきの事例検討会
6/22	2019 年度 兵庫県ケアマネ総会 講義 2 名参加
7/6	患者さんの経済的負担のために知って得する 医療福祉の役立つ制度 3 名参加
7/17	気づきの事例検討会
7/18	第 1 回 在宅医療・介護連携研修会 3 名参加
8/20	在宅医療における 尿路管理法
8/23	在宅でできるリハビリについて 2 名参加

② 訪問件数 (NS=看護師、PT=理学療法士、OT=作業療法士)

令和元年度 訪問総延べ件数 6,609 件

	介護保険					予防介護保険				
	20分 訪問	30分 訪問	60分 訪問	90分 訪問	合計	20分 訪問	30分 訪問	60分 訪問	90分 訪問	合計
NS訪問	49	824	1,046	183	3,200	53	496	594	3	1,712
	20分 訪問	40分 訪問	60分 訪問			20分 訪問	40分 訪問	60分 訪問		
PTOT	0	582	516			2	401	163		

	医療訪問	合計
NS訪問	1,160	1,697
PTOT	537	

平成30年度 訪問総延べ件数 6,355 件

	介護保険					予防介護保険				
	20分 訪問	30分 訪問	60分 訪問	90分 訪問	合計	20分 訪問	30分 訪問	60分 訪問	90分 訪問	合計
NS訪問	61	840	1,403	264	3,623	12	432	440	3	1,088
	20分 訪問	40分 訪問	60分 訪問			20分 訪問	40分 訪問	60分 訪問		
PTOT	2	606	447			1	132	68		

	医療訪問	合計
NS訪問	1,168	1,644
PTOT	476	

③ 主治医 町内 10名 町外 63名

④ 実習生受入れ

西神看護専門学校 R1年5月8日～5月22日 (3名)

西神看護専門学校 R1年6月3日～6月17日 (2名)

西神看護専門学校 R1年7月17日～7月31日 (2名)

西神看護専門学校 R1年9月9日～9月25日 (2名)

⑤ 研修・出張状況

月 日	研 修 名
6/1	代議員・予備代議員会
6/19	兵庫県看護協会 定時総会 職能集会
9/5	心不全の緩和ケアセミナー 2名参加
9/21	訪問看護師・訪問介護員への利用者・家族からの暴力対策 研修プログラム
9/27	ストーマケア研修
9/28	重症心身障害児の呼吸リハ 2名参加
10/15	兵庫県介護保険サービス事業所 集団指導
10/18	「最期まで自宅で穏やかに過ごした」を叶えるために
11/3	呼吸のフィジカルアセスメントとポジショニングについて
11/9	訪問看護職員と訪問看護ステーションの安全 法律関連の知識
11/14	県作業療法士会・第5回ブロック勉強会 「血液データの見方」
11/16	爪のケア（フットケア）
11/22	「自分らしく暮らしていくための羅針盤」 ～生と死を考える 成年後見制度の現場から～
11/29	フレイル・サルコペニア 栄養
12/15	対象者が思う生活に向けての自立支援の考え方
1/18	認知症について
1/21	療養を支える フットケア
1/23	包括的リハビリテーション・運動療法有効法
1/30	「知っているようで知らない便秘とオシリのなはし」
2/8	第2回 東播支部会員会
2/2	災害時のいのちと暮らしを守る
2/15	稲美町地域ケア大会

- ・ステーション連絡会（2ヶ月に1回開催） 6回
- ・稲美町ネットワーク会議 1回
- ・入院患者、短期入所者状況把握（退院前カンファレンス） 10件

(4) 療養通所介護事業所 ひだまり畑 活動報告

《事業の概要》

医療的ケアを要し、常に看護師による観察が必要な重度の要介護者や難病の方に通所していただける施設です。また、医療依存度の高い重度心身障がい者（児）の日中一時支援も行っています。職員2名以上、そのうち1名は看護師で個別送迎、個別入浴行っており、利用者1.5人に対しスタッフ1人以上の配置が必要な事業所です。

《現状と課題》

利用延べ回数が増加したのは、介護保険利用者が入院した後、期間限定で利用中の方の利用回数を増やすなど柔軟に対応できたことによるものと考えられます。今年度は、看護師1名の増員によりケアマネジャーと相談し連携を素早くとることが出来ました。その為、新規依頼の受け入れも時間をかけずに早くできたと考えます。今後もこの様な対応を続け安定した利用者数を維持するためには、時間や日数制限のない人員の確保が重要だと考えます。

	令和元年度	平成30年度
利用者実数	12名	10名
介護保険利用者	7名	5名
日中一時利用者	5名	5名
利用延べ回数	658回	552回

- ・新規契約者 3名
- ・終了者 5名（死亡：2名 入所/入院：3名）
- ・再度利用開始者 1名
- ・臨時休業 1日（スタッフの確保困難）
- ・利用の問い合わせ 10件 介護保険利用者：8件 日中一時支援：2件
- ・利用とならなかった理由：稲美町外在住であった。状態が悪化した。入所された。

① 研修・出張状況

月 日	研 修 名
7/6	知って得する医療・福祉の役立つ制度
8/20	留置バルーンカテーテルの管理について 2名参加
8/26.8/27	生活を向上させるための介護技術編
10/8	在宅医療・介護に役立つ効果的な口腔ケア

10/8	在宅医療・介護に役立つ効果的な口腔ケア 衛生士による多様な口腔ケアの紹介
10/19	在宅ケアと看取りから学んだ 人生 100 年時代の幸福論
10/19	子育てをささえる療育 ～障害のある子どもと保育士の役割～
11/2	重症心身障害児の急変にどう対応したらいいのか？
12/10	動脈硬化の予防について

② 実習受け入れ

西神看護専門学校 （訪問看護ステーションの実習期間中に 1 日）

③ 3/23 運営推進会議及び安全・サービス提供管理委員会の開催

（新型コロナウイルス感染拡大防止対策として文書送付をもって開催とした）

(5) 訪問介護事業所 スマイル 173 (いなみ) 活動報告

《事業の概要》

介護援助の必要な、高齢者および障がいのある方にホームヘルパーを派遣しています。また、障がいのある方が障害福祉サービスを利用する際に必要な計画作成を行う指定特定相談支援事業も実施しています。

《現状と課題》

訪問介護の特性として、必要とされる時間帯が介護保険・訪問サービス・障害福祉サービスのいずれもが朝夕に重なってしまうことがあります。その為依頼を受けたくても人員不足で受けられないことが多々あります。

慢性的なヘルパー不足の為、人材の育成と確保が今後も必要になります。

① 延べ利用者数 = 885 人 (令和元年度)

介護保険	訪問型	有料	自立支援居宅	同行援護	移動支援	エンゼルヘルプ
148 人	274 人	4 人	268 人	63 人	128 人	0 人

延べ利用者数＝895人（平成30年度）

介護保険	訪問型	有料	自立支援居宅	同行援護	移動支援	エンゼルヘルプ
190人	283人	2人	237人	62人	121人	0人

② 介護保険（令和元年度）

	身体介護	生活援助	身体生活	合計
時間	860.00H	373.25H	373.06H	1,606.31H
回数	1,069回	385回	273回	1,727回

介護保険（平成30年度）

	身体介護	生活援助	身体生活	合計
時間	1,340.50H	563.25H	367.41H	2,271.16H
回数	1,471回	569回	269回	2,309回

③ 訪問型サービス（総合事業）（令和元年度）

	身体介護	生活援助	身体生活	合計
時間	0H	980.5H	418.0H	1,398.50H
回数	0回	1,268回	474回	1,742回

訪問型サービス（総合事業）（平成30年度）

	身体介護	生活援助	身体生活	合計
時間	0H	789.0H	571.5H	1,360.5H
回数	0回	1,024回	672回	1,696回

④ 障害福祉サービス (令和元年度)

	身体介護	家事援助	同行援護 基本決定	通院介助 (身介有り)	通院介助 (身介無し)	重度訪問	移動支援 (身介有)	移動支援 (身介無)	合計
時間 (H)	1,081.0	2,249.0	249.0	0	0	0	288.5	264.5	4,132.0
回数	1,508	2,060	170	0	0	0	259	150	4,147

障害福祉サービス (平成 30 年度)

	身体介護	家事援助	同行援護 基本決定	同行援護 (身介有)	通院介助 (身介有)	重度訪問	移動支援 (身介有)	移動支援 (身介無)	合計
時間 (H)	1,205.5	1,730.5	196.5	62.0	10.0	12.0	234.5	265.0	3,716.0
回数	1,655	1,599	141	36	5	2	230	184	3,852

- ・有料 4件 27.0H
- ・エンゼルヘルパー 延べ 0名
- ・布団丸洗い 延べ 2名

⑤ 研修・出張状況

月 日	研 修 名
6月17日	令和元年度兵庫県ホームヘルプ事業者協議会総会 第1回管理者研修会
7月17日	東播臨海精神保健協会 記念講演会
8月20日	かわぐち腎泌尿器科勉強会 留置カテーテルの管理について 3名参加
9月5日	加古川医療センター 膠原病について
9月13日	リウマチ教室 (膠原病)
10月5日	日本認知症ケア学会「認知症ケアの学びをアクションに」
10月24日	障がいのある人と共に生きる～差別解消法と合理的配慮とは 8名参加
12月10日	泌尿器科疾患の知識・動脈硬化予防 2019 ガイドラインについて 3名参加
1月13日、2月5日	発達障害実務者養成講座 (成人期) 全3回(最終回コロナで延期中) 2名参加

2月17日	パーキンソン病関連疾患について
-------	-----------------

- ・その他、在宅サービスセンターの内部研修に参加
- ・稲美町ネットワーク会議（2ヶ月に1回開催）

⑥ 指定特定相談支援事業

延相談件数	計画作成件数	モニタリング
0件	8名	3名

⑦ 研修・出張状況

月 日	研 修 名
8月7,8,9日	兵庫県相談支援従事者現任研修 2名参加

(6) ひなたんぼ小規模多機能ホーム 活動報告

《事業の概要》

通所、宿泊、訪問をご利用様のニーズに合わせ柔軟に組み合わせてご利用いただけます。

24時間365日営業の事業所です。宿泊は、一日5名まで、通所は原則15名までです。

《現状と課題》

契約後すぐ宿泊利用希望され3日間の宿泊対応するも3日目に体調不良、病気発覚（末期がん）入院となり終了するケースがありました。老人保健施設退所後に再利用され1か月後再度入所される方もあり、短期間利用、登録人数増減でなかなか安定しないことがあります。

① 登録・利用状況

新規： 8件（こぶし1、包括1、家族5、居宅1）

終了： 12件（入所4、入院2、死亡4、自己都合2）

相談： 24件（家族8、包括4、居宅10 {内こぶし6} 老健1、他事業所1）

令和元年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者	19	18	18	18	16	17	17	17	17	17	16	18	208

・利用実日数（日）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	30	31	30	31	31	30	31	30	31	30	29	31	365
訪問	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
泊まり	28	28	29	31	31	26	29	29	29	29	29	31	349

・利用延べ人数（人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	321	293	275	262	270	279	279	273	292	266	262	320	3,392
訪問	73	78	75	83	77	109	93	88	92	86	46	106	1,006
泊まり	77	82	78	70	80	76	75	52	66	50	87	58	851

・介護度別利用者数及び平均介護度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支援1	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4
支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
介護1	7	5	6	6	5	5	5	5	4	4	5	5	62
介護2	6	5	5	5	5	6	6	5	6	6	6	8	69
介護3	2	3	3	3	2	3	3	3	2	2	2	2	30
介護4	1	1	1	1	2	2	2	2	2	1	0	0	15
介護5	3	3	2	2	1	1	1	2	2	3	3	3	26
平均 介護度	2.3	2.5	2.3	2.2	2.2	2.3	2.2	2.4	2.2	2.1	2.3	2.3	2.3

平成30年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者	20	19	18	19	19	18	18	18	19	19	18	21	226

・利用実日数（日）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	30	31	30	31	31	30	31	30	31	30	28	31	364
訪問	30	31	30	31	31	30	31	30	31	30	28	31	364
泊まり	25	26	24	23	26	19	21	19	22	21	18	22	266

・利用延べ人数（人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	334	329	306	320	328	296	306	297	321	278	267	311	3,693
訪問	73	78	75	83	77	94	100	88	92	86	46	106	998
泊まり	77	82	78	70	80	64	60	52	66	50	87	58	824

・介護度別利用者数及び平均介護度（申請中2名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
支援2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
介護1	7	7	6	8	8	8	8	8	8	8	6	7	89
介護2	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5	6	6	67
介護3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	14
介護4	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	1	1	21
介護5	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	28
平均 介護度	2.0	2.1	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.3	2.4	2.3	2.2

② 運営推進会議（5月、7月、9月、11月、令和2年1月）

※R2年3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため情報提供として各委員に資料を発送しました。

③ 協力病院との連携

- ・宮本歯科医院協力にて歯科検診の実施（6月）

④ 実習及び施設受け入れ

- ・訪問看護ステーション実習中の学生3名（5月）1名（6月）2名（9月）
- ・西神看護専門学校実習2名（10月2日～11日）2名（10月16日～24日）
- ・社会福祉協議会 ボランティア学生1名（5月18日・25日）
- ・トライやる稲美北中8名（6月3日）6名（6月4日）

⑤ ボランティア協力

- ・散髪（1回/月）
- ・歌とお話し（1回/月）
- ・傾聴（月1回）
- ・カラオケポップスター（月1回）

⑥ 地域との交流

- ・加古幼稚園との交流、7月七夕、12月クリスマス
- ・近隣散策ドライブ（二見港、加古大池、小野、三木方面、喫茶店）
- ・月に1回外出企画（5月ふれあい祭り・6月紫陽花ドライブ
7月プラネタリウム見学 8月ヤクルト工場見学
9月敬老の日松花堂弁当 10月コスモスまつり見学
11月よかたん足湯 R2年1月天満神社へ初詣）

⑦ 研修・出張状況

月 日	研 修 名
6/5	個別ケースから考える地域・まちづくり
6/26	認知症心理カウンセラー養成講座 2名参加
7/6	小規模多機能型居宅介護のケアマネジメント
8/31	認知症ケアが上達する薬の知識 3名参加
10/1～12/24	認知症介護研修 全6回
12/21	人生の最後をよりよくするために 「ケア充実のための人材育成」 2名参加
1/11	長寿健康で生き抜くために 2名参加
1/25	「患者様の生命の質を考える スピリチュアルの目的と本質」
2/5	認知症と自動車運転
2/15	「エンドオブライフにおける意思表示を支援するエンドオブライフケア教育」 2名参加

(7) 給食サービス

《事業の概要》

高齢や障がいなどで調理が困難な家庭に、毎週水曜日（7、8月除く）に給食ボランティアが調理したお弁当を民生委員・児童委員や民生協力委員、配送ボランティアが見守りを兼ねてご自宅までお届けしています。

《現状と課題》

配食数は年々減少しており、新規申込は時々ありますが現在は30食足らずです。入院等での休止から入所になり、サービス終了というケースがよくあります。

見守りを目的に実施している事業ですが、食事の確保が必要な方にとっては、週に1回一食という内容が合っていないのが現状です。

3月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、調理室が使用できず、加えてボランティア活動して下さる方の安全を考え、通常事業は休止。かわりに、利用者全員に聞き取りを行ったうえで、希望者に対しては、業者調理のお弁当を職員がお届けする形に切り替えて実施しました。

対象者 一人暮らしの高齢者・障害者・高齢者世帯等
 サービス内容 第1～第5水曜日（7月・8月除く）
 利用料金 200円／回

給食サービス活動状況

	4月	5月	6月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延利用者数	101	106	107	118	148	116	103	90	94	53	1,036人
ボランティア	30	31	33	28	35	28	27	28	32	0	272人
実施日数	4	4	4	4	5	4	4	4	4	4	41日
配送ボランティア	8	6	7	4	4	4	3	3	4	0	43人

調理担当 調理ボランティア 31名

配送担当 担当民生委員 11名 民生協力委員 27名

民友会 7名 配送ボランティア 5名

(8) 外出支援サービス事業

《事業の概要》

町が実施している「いきいきセミナー」や「いきいきサロン」などへ参加したくても移動手段のない方を運転ボランティアが送迎しています。

《現状と課題》

ボランティアが減少しているため広報等呼びかけをしていますが確保が難しいです。また予定していたボランティアが活動できなくなった場合はボランティア同士調整をさせていただいたり、職員が代わって対応しています。背景には、定年制の延長やフルタイムではなくても仕事を続けておられる方が増えていることでもあるのではないかと考えられます。

3月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、いきいきセミナーが休止となり、送迎ボランティア活動も、2月26日をもって終了となりました。

	実利用者数	延べ利用者数	ボランティア 延べ活動人数	利用日数
いきいきセミナー	23	151	239	91

参考：運転ボランティア 登録人数＝16名

(9) 介護用具貸出事業

《事業の概要》

介護保険等を利用できない方優先に介護機器を貸出しています。

《現状と課題》

毎年多くの方にご利用いただいています。車いすについては、新品を寄付いただいたり、善意銀行の寄付金を使わせていただいて購入したので、錆の無い真新しい車椅子を気持ちよく利用していただけたのではないかと思います。

自走式だけではなく、介助式の車いすの需要も一定数あります。また、貸し出し・返却の手続きにご本人やご家族が来所できず、ケアマネジャーが代理されている場合もあります。

貸出台数 (延べ)	車イス	その他 (シャワー椅子、歩行器等)
	135台	16台

ボランティアグループさんから新しい車いすを2台ご寄付いただきました。

(10) 視覚障害者用朗読テープ利用者

《事業の概要》

情報を得る事が難しい視覚障害のある方を対象にテープやCDで町広報や社協だより、新聞コラムなどの情報を音声でお届けしています。

《現状と課題》

3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため録音室の使用ができなくなり、テープをお休みしました。利用者の増減はありません。

内 容	送付回数	実人数	延べ人数
広報・社協だより・新聞コラム	11	3	33

(11) 日常生活自立支援事業

《事業の概要》

在宅生活されている判断能力に不安のある高齢者や知的・精神的な障がいのある方などが地域で自立した生活を送ることができるよう福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理、通帳や印鑑の預かりなどのお手伝いをします。

《現状と課題》

金銭管理や生活上の様々な支援によって契約している方の日常生活は安定させることが出来ています。しかしながら、浪費等の予防のために金銭管理等が必要な方であっても本人の同意がないために契約できず、支援に入れないなどの課題があります。

また本来は成年後見制度の利用が必要な方でも金銭及び手続きのハードルが高いため、本制度がカバーしている現状があります。

契約人数 6 名（認知症高齢者 3 名、精神障害者 2 名、その他 1 名）

※年度途中解約 1 名（死亡 1 名）

訪問	278 回
電話連絡	236 回

(12) 地域生活支援事業「おたがいさん」

《事業の概要》

支援の必要な方に対して暮らしのちょっとした困りごとを有償サポーターにお手伝いしていただくことで、地域のたすけあい活動を進めていきます。また活動の際には、利用者本人にも無理のない範囲の協力をお願いし、サポーターと共に行う活動を目指します。

《現状と課題》

利用依頼内容に偏りがあり、サポーターの活動量に差が出てきています。活動が少ないサポーターもあり、やりがいをもって活動ができるよう調整していきたいと思います。新規サポーターの登録もあり、サポーターの特技を活かした活動ができるよう調整したいと思います。

3 月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動を中止または職員での対応を行いました。

た。

- ・サポーター登録者 26名
- ・依頼世帯 実人数 37名

本人の状況	家族状況	人数
経済困窮	独居	1
高齢	独居	22
	夫婦	9
	障害のある家族	1
	介護者を抱える家族	1
	二世帯	1
その他	介護者を抱える家族	2

- ・依頼延件数

件数	活動サポーター
180件	217名

- ・依頼内容 180件

内容	件数
清掃	54
通院付添	38
草刈り、草引き、剪定、伐採	23
修理	2
網戸の張替え	2
障子の張替え	2
電球交換	2
衣類の整理	1
買い物	37
その他	19
合計	180

(13) 介護ボランティアポイント事業

《事業の概要》

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、高齢者による介護保険施設等におけるボランティア活動を支援することで、地域貢献や社会参加を促進し、自分自身の介護予防や、地域の介護予防を推進することを目的として実施しています。

町内に住所がある65歳以上の人（介護保険の要介護認定を受けている人などは除く）が対象です。町が指定する社会福祉法人などの施設（受入施設）でボランティア活動を行った場合に、その実績に応じてポイントを付与します。ポイントに応じ、活動交付金（稲美町共通商品券）を交付します。

《現状と課題》

社協だよりに募集記事を掲載するなど広報に努めています。仕事の経験を活かしてボランティア活動をはじめの方や空いた時間を活かしたい方など意欲的に活動していただいています。ボランティア活動を通して人とのつながりが増え、ボランティア・利用者ともによい影響があります。

3月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設でのボランティアの受け入れが中止となりました。そのため活動件数は減少しています。

登録ボランティア	31名
手帳発行部数	31冊
活動先	3か所
登録活動先	9か所

■施設活動 642件

施設名	件数
こぼと園	51
稲美苑	591
合計	642

■在宅活動 139 件

施設名	件数
社会福祉協議会	139
合計	139

2 当事者への支援

(1) 介護者のつどい「さくら草の会」

《事業の概要》

介護者がつどい、想いを共有したり情報交換を行ったりと心のリフレッシュを目的としています。介護の種別は問いません。

原則毎月第4金曜日 10時～12時

《現状と課題》

参加者の希望をもとに学習会や施設見学なども実施しています。新しく参加される方が年間1～2名程度、現在介護中の方の参加は3名程度で、年数を重ねるごとに介護を終えられた方の参加割合の方が多くなっています。会の内容は充実しているのもっと多くの方に参加頂けるような広報が課題です。

月 日	参加者	内 容
4月26日	14名	ニュースポーツ（いきいき100歳体操、囲碁ボール）
5月24日	13名	勉強会（亡くなった後の備え）
6月28日	11名	施設見学（サンホーム国岡）
7月26日	11名	バス旅行行先検討、おしゃべり会
8月23日	7名	実習生との交流会
9月27日	13名	勉強会（介護保険制度）
10月18日	17名	バス旅行（西脇市方面）
11月22日	13名	勉強会（遠距離介護）
12月20日	13名	手芸、おしゃべり会
1月24日	11名	おしゃべり会
2月28日	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
3月27日	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(2) 認知症を学ぶ会「ほっとファミリー」

《事業の概要》

認知症の方を支えている皆さんがつどい、想いを共有したり情報交換を行ったりと「ほっ」とできる場づくりを目的としています。

原則毎月第4木曜日 10時～12時

《現状と課題》

現状としては、定期参加のメンバーが多数を占めており、気兼ねのない話し合いができる場となっています。また、稲美町外の介護者家族なども幅広く受け入れる形にしております。その反面、定期参加しているメンバーの高齢化や新規メンバーが定着しにくいといった点から、メンバー数が減少し例会の内容が固定化している課題があります。

月 日	参加者	内 容
4月25日	6名	おしゃべり会
5月23日	8名	おしゃべり会
6月27日	7名	おしゃべり会
7月25日	6名	おしゃべり会
8月22日	6名	おしゃべり会
9月26日	7名	おしゃべり会
10月24日	5名	おしゃべり会
11月28日	8名	バス旅行（淡路方面）
12月19日	5名	おしゃべり会（クリスマス会）
1月23日	3名	おしゃべり会
2月27日	7名	おしゃべり会
3月26日	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(3) 生きづらさを抱える成人をもつ親のつどい

《事業の概要》

発達障害などのちょっとした違いで社会の中でうまく距離がつかめない、などの困り感をお持ちの成人の子どもを持つ親の会です。

原則毎月第2水曜日 10時～12時

《現状と課題》

潜在化しがちな生きづらさを抱える成人の親の貴重な情報交換の場になっています。しかしながら、潜在化しているがゆえに対象者の把握が難しく、またこのつどいに参加するための心的障壁が高いことから参加者数が伸び悩んでいると思われます。

今年度はこのつどいのことを知って頂くことも目的に信託制度についての講座を開催しました。

月 日	参加者	内 容
4月10日	6名	おしゃべり会
5月8日	4名	おしゃべり会
6月12日	7名	おしゃべり会
7月10日	6名	おしゃべり会
9月11日	5名	おしゃべり会
10月9日	8名	おしゃべり会
11月13日	4名	おしゃべり会
12月11日	5名	おしゃべり会
1月8日	6名	おしゃべり会
2月12日	9名	勉強会（障がいのある方向けの信託制度について）
3月11日	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(4) 子育てひろば事業

ひろば設置数8ヶ所

月 日	内 容	場 所	参加者
6月26日	子育てフェスティバル	加古福社会館	親子86組（188名） 写真コーナー、ぼん菓子 コーナー出店協力

三世代交流事業

月 日	内 容	場 所	参加者
4月23日	三世代交流事業 打合せ	障害者ふれあい センター	子育て支援センター 1名
10月5日	三世代交流事業 「おはなしランド」へようこそ！！	いなみ野 体育センター	参加親子 60組 197名

その他 取り組み

- ・社協だよりに子育てひろば情報を掲載（ひろば事業の広報・関連行事の告知）
- ・町内イベント時等へ託児ボランティア派遣
- ・夏休みボランティアスクールとひろばの連携企画（おもちゃライブラリー）

(5) 個別支援

- ・当事者のオープンかふえ参加支援（F氏） 11回

3 小地域福祉活動の推進

(1) 福祉委員活動状況

- 5月16日 役員会（総会に向けて）
- 5月20日 福祉委員会総会（加古福祉会館） 57名出席
社会福祉協議会・福祉委員活動の説明、福社会費・福祉懇談会依頼 等
- 6月 福社会費納入月間 4,170,800円
- 7月23日 福祉委員交流研修会（いきがい創造センター） 31名
私が通いたい居場所づくりについて、現状と話し合い
- 8月19日 役員会（共同募金について、合同研修会、まつりについて）
- 9月20日 自治会長・福祉委員合同研修会（役場4階コミュニティセンター）
「ひとりぼっちをつくらない地域づくり」
講師：mottoひょうご事務局長 栗木 剛氏
福祉委員49名、自治会長33名、理事4名出席
- 10月 共同募金運動 5,273,709円
街頭募金（10月1,2日） 6名
（にじいろふぁーみん・コープ稲美・マルアイ稲美店・フーディーズいなみ）
- 11月2・3日 社協福祉ボランティアまつり 準備20名、当日16名
- 11月22日 福祉講演会（コミュニティセンターホール）
「自分らしく暮らしていくための羅針盤」
～生と死を考える 成年後見制度の現場から～
講師：穴田 智久氏
86名参加（うち福祉委員10名）

- 12月 歳末助け合い運動 1,277,131円
- 2月27日 役員会（共同募金報告、1年の振り返りについて、アンケート結果について）新型コロナウイルス感染拡大防止のため、役員会中止。
- 2月28日 ボランティア連絡会啓発講演会 中止。

参考：福祉委員アンケート回収：51人／65人

① 自治会の役員会などに定期的に参加されていますか？

- ・はい (44)
- ・いいえ (7)

② 福祉委員の他に、自治会で兼務されている役職はありますか？（兼務なし：32）

*自治会の規則で兼務不可のところ、1か所

- ・副会長5人
- ・環境委員4人
- ・土地改良4人
- ・生涯学習人権推進2人
- ・隣保長2人
- ・営農2人
- ・JA総代2人、
- ・会計、自治会総務、寺総代、交通安全、地域安全まちづくり、水利委員（各1人）

③ 福祉委員活動・社会福祉協議会についての理解は深まりましたか？

- ・よくわかった6人
- ・わかった42人
- ・よくわからない3人
- ・わからない0人

④ 何か運動をしたり、運動以外でも定期的な集まりに参加していますか？

- ・自分で運動している17人
- ・運動グループに参加している11人
- ・運動はしていない13人
- ・運動以外の定期的な集まりに参加している16人
- ・参加していない15人

⑤ あなたのまわりで自治会活動以外に、グループや懇親会のようなものはありますか？

- ・ある29人 ⇒ それはどのような内容ですか
- ・同年代等の親しい仲間の集まり5人
- ・営農関係3人
- ・グラウンドゴルフ2人、
- ・ゴルフコンペ2人
- ・役員や婦人会のOB会2人
- ・将棋2人、
- ・卓球、ウォーキング、料理教室、茶道、文化活動、ゲートボール、サロンやひろば（各1人）

- ・自分も参加している16人

⇒頻度は、週に1～2回から、月2～3回、年に1～3回まで様々。

月1回が9人で最も多かった

- ・わからない 22人

⑥ 高齢や障がいがあっても、できるだけ安心して暮らせる地域にするためには何があればよいとお考えですか？

・近所づきあい 11 人 ・気軽におしゃべりできる場所 7 人 ・どの地区からでも 5 分で行けるバス停 6 人 ・隣保ごととかでの見守り 4 人 ・助け合い 3 人

以下各 1 人 高齢になっても役に立てる場所、高齢になっても働ける場所（町内企業が出資してつくる）、居場所、行きたくなる場所、気軽に相談できる人や場所、バリアフリーの道、自転車道、ボランティア活動、福祉の充実

⑦ ⑥の実現のために、自分でもできると考えられることはありませんか？

・挨拶 7 人 ・自治会活動への参加 4 人 ・近所づきあい 3 人 ・関心を持つこと
・雑談 ・定期的訪問 ・不登校引きこもりの人へのサポート ・福祉活動への参加

⑧ その他ご意見、ご質問等があればご記入をお願いします。

ひきこもりの若者が気になっている。居場所が大切だ。車いす助かった。

(2) 福祉懇談会開催状況

■ 16 自治会 延べ 351 名参加

加古地区	母里地区	天満地区	天満東地区	天満南地区
上新田 (7月6日)	印西 (11月16日)	中村 (8月3日)	百丁場 (7月6日)	東山 (9月28日)
三四軒屋 (9月22日)	草谷 (11月17日)	中一色 (8月3日)	国安 (12月8日)	六分一山 (10月26日)
六軒屋 (10月2日)		国安団地 (8月4日)		大池 (11月10日)
北新田 (2月29日)		北山 (8月9日)		
		稲美野荘園 (11月17日)		

■ テーマ

「懇談会」…3 自治会

「遠距離介護について」…3 自治会

「これからの地域での助け合いについて」…3 自治会

「成年後見制度と日常生活自立支援事業について」…2 自治会

「介護保険制度について」…1 自治会

「認知症サポーター養成講座」…1 自治会

「福祉懇談会から見える稲美町の暮らしの今について」…1 自治会

「古い支度を考える講座（エンディングノートについて）」…1 自治会

「防災と福祉の連携について」…1 自治会

(3) いきいきサロン実施状況

《事業の概要》

月 1 回、おおむね 65 歳以上の高齢者が地域の公民館等に集い、ニュースポーツや体操、手工芸や脳トレなどで午前中の約 2 時間を過ごす事業です。ハートスタッフを専任で配置し、毎年会場ごとに事業の計画を行っています。必要に応じてボランティアを配置しています。原則は、歩いて行ける地域の公民館が会場ですが、高齢や障害等により参加が困難な方には送迎サービスも行います。

多様なニーズに見合う事業を展開することで、高齢者の健康づくり、閉じこもり予防、生きがい対策を推進し、健康長寿の実現を目指しています。

《現状と課題》

町全体の高齢者数は増加していますが、参加者は減少しています。

参加者ご自身で次年度の計画を考えていただきますが、体を動かすものや歌などが人気です。

どこの会場でも会長等役員のなり手に苦勞しておられます。お道具の運搬が負担になってきている地区も増えてきています（軽トラ・車がない、免許がないなど）。

健康長寿の実現のためには社会と多くの接点を持つことが不可欠であるということは、多くのデータが示唆しています。老人クラブに入会し、高齢者自身が積極的にサロンに参加したいと思えるような動機づけが必要ですし、また、できるだけ役員の負担を軽くする工夫も必要かと思われます。

平成 28 年度から休止中の上新田高層住宅サロンで、また集まりたいとの声があり、「まちの保健室」を開催することで、サロンの再開につながりました（令和 2 年度より隔月で開催予定）。

55 会場でいきいきサロン開催

ハートスタッフ 18 人、 ボランティア 13 人

	参加実人数	参加延べ人数	新規参加者
令和元年度	1,265 人	8,897 人	84 人
平成 30 年度	1,342 人	9,966 人	134 人
平成 29 年度	1,356 人	9,917 人	122 人
平成 28 年度	1,392 人	10,438 人	121 人
平成 27 年度	1,467 人	10,922 人	123 人
平成 26 年度	1,448 人	11,058 人	152 人
平成 25 年度	1,433 人	10,774 人	148 人
平成 24 年度	1,464 人	10,891 人	162 人

- ・ 28 年度から全会場で体力測定を実施 55 箇所
- ・ ハートスタッフ会議 3 回
- ・ サロンボランティア会議 2 回

令和元年度いきいきサロン事業 実績報告(4月～3月)

	開催地区名	実人数	実施回数	延人数	1人当り参加回数	高齢者数	高齢者参加率	高齢化率	後期高齢参加者数	後期高齢参加率	男	女	新規参加者
		A	B	C	C/A	E	A/E(%)	(%)	F	F/A(%)			
加古	五軒屋	19	11	135	7.1	135	14.1%	34.3%	10	52.6%	6	13	1
	池の内	10	10	68	6.8	33	30.3%	31.4%	3	30.0%	5	5	0
	北新田	23	11	107	4.7	157	14.6%	35.0%	14	60.9%	8	15	1
	大沢	19	11	150	7.9	42	45.2%	35.0%	13	68.4%	12	7	0
	上新田	22	11	149	6.8	202	10.9%	30.4%	17	77.3%	9	13	3
	上新田高層住宅	0	0	0	0.0	65	0.0%	26.3%	0	0.0%	0	0	0
	千和池	15	10	110	7.3	59	25.4%	31.6%	4	26.7%	6	9	3
	中新田	34	11	259	7.6	165	20.6%	36.6%	25	73.5%	14	20	5
	三四軒屋	15	11	110	7.3	121	12.4%	35.8%	11	73.3%	4	11	1
	六軒屋	17	11	115	6.8	56	30.4%	34.4%	11	64.7%	5	12	1
	見谷	22	10	128	5.8	159	13.8%	35.4%	18	81.8%	4	18	1
	七軒屋	24	11	191	8.0	64	37.5%	36.2%	16	66.7%	12	12	2
八軒屋	28	11	160	5.7	101	27.7%	32.1%	15	53.6%	8	20	1	
母里	蛸草(第一)	15	11	123	8.2	152	9.9%	35.8%	12	80.0%	6	9	1
	蛸草(第二)	15	10	136	9.1	205	7.3%	32.1%	14	93.3%	6	9	0
	印東	18	11	145	8.1	233	7.7%	30.2%	16	88.9%	10	8	1
	印西東	16	11	81	5.1	171	9.4%	37.0%	12	75.0%	7	9	3
	印西西	12	10	75	6.3	169	7.1%	30.1%	9	75.0%	6	6	2
	学校前	9	10	75	8.3	50	18.0%	36.5%	6	66.7%	2	7	0
	上野谷	24	9	163	6.8	94	25.5%	34.9%	18	75.0%	6	18	0
	下野谷	19	11	145	7.6	85	22.4%	33.6%	12	63.2%	6	13	0
	草谷	35	11	299	8.5	316	11.1%	40.0%	33	94.3%	18	17	2
	下草谷	18	10	107	5.9	116	15.5%	33.2%	10	55.6%	8	10	2
	野寺	26	9	154	5.9	171	15.2%	32.0%	18	69.2%	8	18	2
野谷団地	6	10	47	7.8	21	28.6%	29.2%	5	83.3%	1	5	1	
天満	中村	10	11	93	9.3	56	17.9%	29.3%	3	30.0%	3	7	0
	菊徳	24	10	147	6.1	135	17.8%	20.5%	15	62.5%	9	15	1
	稲美野荘園	44	11	292	6.6	476	9.2%	42.1%	28	63.6%	17	27	2
	向山	21	11	156	7.4	208	10.1%	33.2%	12	57.1%	3	18	1
	下沢	0	0	0	0.0	123	0.0%	41.3%	0	0.0%	0	0	0
	西山	26	11	199	7.7	79	32.9%	44.1%	15	57.7%	13	13	1
	金守	31	10	163	5.3	123	25.2%	35.3%	12	38.7%	14	17	4
	北山	20	11	146	7.3	158	12.7%	37.6%	15	75.0%	4	16	1
	西和田	18	11	85	4.7	64	28.1%	39.0%	11	61.1%	8	10	0
	中一色	27	11	183	6.8	138	19.6%	37.3%	16	59.3%	9	18	0
	和田	27	11	228	8.4	95	28.4%	31.4%	25	92.6%	15	12	0
	東山	39	10	260	6.7	309	12.6%	53.0%	33	84.6%	13	26	2
	幸竹	23	11	211	9.2	117	19.7%	31.5%	16	69.6%	11	12	1
	森安	24	11	159	6.6	123	19.5%	38.6%	22	91.7%	13	11	0
	六分一	42	11	357	8.5	470	8.9%	33.1%	30	71.4%	19	23	3
	六分一山	13	11	95	7.3	235	5.5%	37.5%	7	53.8%	4	9	0
	大池	23	11	135	5.9	174	13.2%	45.5%	19	82.6%	11	12	2
	第5昭和苑	7	10	54	7.7	96	7.3%	36.6%	6	85.7%	1	6	1
	相ノ山	35	11	294	8.4	425	8.2%	27.8%	29	82.9%	13	22	1
	岡西	53	11	453	8.5	284	18.7%	32.4%	42	79.2%	25	28	1
	岡東	37	10	221	6.0	187	19.8%	28.5%	20	54.1%	10	27	8
	出新田	25	11	203	8.1	138	18.1%	35.4%	20	80.0%	12	13	0
	百丁場	15	10	106	7.1	42	35.7%	36.8%	5	33.3%	2	13	0
	十七丁	27	11	227	8.4	108	25.0%	25.5%	17	63.0%	11	16	4
	琴池	23	9	120	5.2	132	17.4%	29.3%	18	78.3%	14	9	4
	国安	21	8	110	5.2	242	8.7%	18.8%	15	71.4%	6	15	2
	国北	24	11	171	7.1	348	6.9%	28.6%	16	66.7%	14	10	1
国安団地	22	10	138	6.3	66	33.3%	25.9%	11	50.0%	8	14	0	
国岡	54	11	388	7.2	973	5.5%	18.8%	37	68.5%	17	37	8	
小池前	19	5	66	3.5	115	16.5%	45.8%	3	15.8%	13	6	3	
昭和苑	17	9	83	4.9	90	18.9%	44.6%	10	58.8%	7	10	0	
愛宕	13	11	122	9.4	35	37.1%	24.6%	12	92.3%	5	8	0	
合計		1,265	573	8,897	7.0	9,506	13.3%	33.8%	862	68.1%	501	764	84

(4) 生活支援等体制整備事業

《事業の概要》

日常生活上の支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で生きがいをもって在宅生活を継続していくために必要となる多様な主体による多様な生活支援等サービスの提供体制を構築するため、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、サービスを提供する事業主体が連携して支援体制の充実・強化を図ることを目的とする事業。

生活支援等サービスの多様な提供主体等が参画し、定期的な情報共有及び連携・協働による生活支援等体制整備を推進することを目的としたネットワークとして協議体を設置。

平成 30 年度より、稲美町から受託。

《現状と課題》

社会福祉協議会が、従前より担ってきた住民主体の地域福祉活動と軌を一にするものであることから、他市町においても、社会福祉協議会が受託しているところが多い事業です。

高齢者が生きがいをもって豊かな地域生活を送る前提として、身近なところに参加できる場や、活躍できる場の存在が大きな意味を持つという考えから、まず、地域の中にある大小様々な、居場所や活動に光を当てるところから取り組んでいるところです。

① 地域資源やニーズの把握

種 別	延べ回数	参 加 場 所
いきいきサロン	99 回	愛宕、池ノ内、中新田、七軒屋、十七丁、六分一山、和田、野谷団地、上野谷、蛸草第二、印西西、学校前、下草谷、北山、見谷、三四軒屋、大沢、向山、国安、印西東、中一色、西山、東山、国安団地、野寺、国北、菊徳、蛸草第一、昭和苑、六軒屋、相ノ山、下野谷、森安、琴池、北新田、八軒屋、岡東、草谷、千和池、百丁場、印東、出新田、五軒屋、上新田、国岡、第五昭和苑、幸竹、西和田、中村、岡西、上新田高層
いきいき広場	27 回	向山、出新田、中新田、岡東、国安北部、下草谷、七軒屋、森安、幸竹、岡西、北新田、八軒屋、草谷、国岡、東山、野寺、六軒屋、西山、大池
いきいきミニ広場	22 回	相ノ山、中一色、西山、国安団地、北山、千和池、下野谷、上野谷、愛宕、昭和苑、上場、稲美野荘園、国安、学校前、百丁場、五軒屋、十七丁、三四軒屋
グラウンドゴルフ	72 回	印東、下草谷、中一色、蛸草第二、五軒屋、下野谷、琴池、池ノ内、昭和苑、大池、草谷、蛸草第一、六軒屋、千和池、

		国安北部、国安、八軒屋、菊徳、六分一山、GG 協会、野谷団地、金守、学校前、北新田、稲美町老連、向山、東山、出新田、中新田、稲美野荘園、西部隣保館の GG 交流、大池クラブ、岡西、上野谷、印西東、愛宕、七軒屋、東部隣保館の GG 交流、GG 加古の会、小池前、上新田、相ノ山、見谷、国安団地、三四軒屋、印西西、中村、岡西、国岡(笹ヅ山公園)、六分一、幸竹、和田、国岡老人クラブ、国岡(交友会)、森安、大池游游クラブ、ニュースポーツクラブ (NSC)、相野 GGC
福祉懇談会	5 回	六軒屋、稲美野荘園、北山、国安団地、大池
喫茶、趣味の会等	70 回	認知症カフェ、いなそうカフェ、下沢ゲートボール、昭和苑茶話会、千和池薬師講、稲美野荘園食事会、稲美野荘園カラオケ、相ノ山カラオケ、六分一山手芸部、なんなん喫茶、国安団地認知症サポーター養成講座、七軒屋観音講、大池友禅染、大池ラジオ体操、国安団地カラオケ、下草谷念仏講、稲美野荘園囲碁・将棋、稲美野荘園ゲートボール、五軒屋梅花講、六分一カラオケ、愛宕お茶会、中新田観音講、六分一喫茶、東山おもいで歌サークル、西部隣保館囲碁ボール、大池卓球ピース、和田カラオケ、大池けんこう体操、稲美野荘園卓球、小池前麻雀、稲美野荘園ラジオ体操、東山ラジオ体操、印西南場第一ニュースポーツ、八軒屋地蔵講、和田地蔵講、稲美野荘園囲碁ボール、中一色地蔵盆、上新田高層夏祭り、東山大正琴、見谷ゲートボール、はまゆうゲートボール、第五昭和苑絵手紙、大池卓球同好会、下野谷地蔵講、母里福祉会館詩吟、なんなん囲碁同好会、稲美町老連行事 (GG、運動会、つどい)、国安観音講、中村地蔵講、盆栽展、中村体操、八軒屋ヨガ、東山花づくりの会、大池大正琴、西部隣保館吹き矢クラブ、岡西ストレッチャーズ、丸山の体操、東部隣保館カラオケ
合 計	295 回	

※上記に参加し、順次、地区カルテを整備中。

② 研修への参加 7回参加

月 日	内 容	会 場
4 月 22 日 (月)	社協職員新任研修	兵庫県福祉人材研修センター

4月23日(火)	社協職員新任研修	兵庫県福祉人材研修センター
7月25日(木)	BODY筋の研修	福祉のまちづくり研究所
7月29日(月)	生活支援体制整備事業基礎セミナー	兵庫県民会館
11月26日(火)	生活支援体制整備事業実践セミナー	兵庫県民会館
12月12日(木)	業務研修会 生活支援コーディネーター情報交換会	明石市社協
2月28日(金)	生活支援体制整備事業フォローアップセミナー	姫路商工会議所

③ 第一層協議体の開催について

第1回

月 日	内 容	会 場
7月10日	(1) 稲美町内の社会資源等について (2) 地域から聞こえてきた声について	障害者ふれあいセンター

出席者 14名(学識経験者や自治会老人クラブなど)

第2回

月 日	内 容	会 場
12月20日	(1) 地域資源やニーズの把握・開発について (2) 地域での「助け合い活動」の例として	障害者ふれあいセンター

出席者 14名(学識経験者や自治会老人クラブなど)

4 連絡調整事業の推進

(1) 各機関連絡調整会議

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部会議は中止になりました。

(兵庫県社会福祉協議会管轄)

社協会長会議	1回
事務局長会議	5回

生活福祉資金貸付事業担当者会議	2回
日常生活自立支援事業担当者会議	2回
日常生活自立支援事業 専門員・担当者研修会	1回
生活困窮者自立支援事業意見交換会	1回
相談支援担当者、基幹相談支援センター連絡会議	1回

(東播磨ブロック管轄)

東播磨ブロック協議会総会	1回
東播磨ブロック協議会事務局長会議	1回
東播磨ブロック協議会職員部会	1回
日常生活自立支援事業専門員・担当者情報交換会	1回
生活福祉資金貸付事業にかかるブロック別意見交換会	1回
基幹相談支援センター連絡会	1回

(兵庫県共同募金会管轄)

理事会	1回
評議員会	1回
募金部会	1回
事務局長会議	1回
職員研修会	1回

(加古川健康福祉事務所管轄)

東播磨臨海精神保健協会	1回
東播磨圏域健康福祉推進協議会	1回
健康ひょうご21 県民運動東播磨会議	1回

(加古川医師会管轄)

在宅医療推進協議会第8回総会	中止
医療・介護ケア連携研修会	2回
東播認知症連携協議会	2回

(稲美町管轄)

地域ケア会議	1回
稲美町国民健康保険運営協議会	1回
稲美町要保護児童対策地域協議会	2回
地域包括支援センター運営協議会・地域密着型サービス運営委員会	中止

稲美町障害者福祉推進協議会	2回
稲美町行財政改革推進委員会	1回
稲美町まちづくり活動サポート補助金交付審査会	1回
ふれあいまつり関連会議	8回
大池まつり関連会議	4回
トライやるウィーク実行委員会（稲美北・稲美中）	6回
地域公共交通会議	1回
相談担当者連絡会	5回
認知症相談窓口担当者連絡会	5回
稲美町地域ネットワーク会議	3回
稲美町子ども・子育て会議	3回
稲美町健康づくり推進協議会	1回
稲美町地域自立支援協議会	
全体会（2）、運営会議（6）、進捗管理部会（2）、課題別会議（1）	合計 11回
自立支援協議会 3市2町連絡会	1回
稲美町まち・ひと・しごと創生推進委員会	1回
キャラバンメイト連絡会（認知症本人ミーティング含む）	9回
（生活支援体制整備事業関連研修・会議等）	
生活支援体制整備事業管理担当者会議	1回
生活支援体制整備事業基礎セミナー	1回
生活支援体制整備事業実践セミナー	1回
生活支援コーディネーターフォローアップセミナー	1回
（基幹相談支援センター設置に向けての取り組み）	
障害者就労支援研修会	1回
他市基幹相談支援センター視察	2回
基幹相談支援センター連絡会	1回
第63回兵庫県知的障害者福祉大会	1回
発達障害研修会	1回
他市の障害福祉施設見学	2回
（その他）	
地域ケア研究大会	1回
加古川地区防犯協会総会	1回
県民フォーラム	1回

県社会福祉大会	1回
地域福祉情勢セミナー	1回
社会を明るくする運動	1回
社会福祉士養成実習指導者講習会（2日間）	1回
社会福祉士現場実習報告会	1回
生活困窮者自立支援意見交換会	1回
地域福祉推進計画セミナー	1回
社会福祉法人監事研修（県主催）	1回
健康ひょうご21 県民運動推進フォーラム、研修会	1回
県民運動推進員・8020 運動推進員研修	1回

(2) 東播磨ブロック社協職員業務研究会

月 日	内 容	場 所
10月4日	対人援助の視点について	加古川総合福祉会館
12月12日	生活支援コーディネーター情報交換会	明石総合福祉センター
2月17日	ボランティアコーディネーター情報交換会	西脇総合福祉センター

5 相談事業の推進

(1) 暮らしの法律相談【司法書士相談】

《事業の概要》

住民の身近な相談窓口として司法書士が様々な相談に応じます。事前予約は必要ありません。週ごとに会場を変えて実施しています。

《現状と課題》

司法書士が専門的な相談にお答えするので、問題解決に向けて頼りになる相談窓口として機能しています。また、空いている時間は社協に寄せられる相談に助言を頂いています。

現状、気軽に相談できるように予約制は取っていませんが、日によって相談者が重なり待ち時間が長くなってしまふことが課題です。

開催日・場所 第1木曜日 総合福祉会館
 第3木曜日 母里福祉会館

時 間	13 時 30 分～15 時 (20 回開設)
相 談 員	司法書士 (8 名が交代で担当)
相談利用者	延べ 52 名

(2) 暮らしの法律相談【弁護士相談】

《事業の概要》

住民の身近な相談窓口として弁護士が法律的な相談に応じます。

《現状と課題》

弁護士が相談対応することで法的に複雑かつ広範囲な相談に応じています。開催回数の割に利用件数が少ないのが現状ですが、社協だよりに記事を掲載した直後は利用増になる傾向があります。

また社協が相談内容を詳細には把握していないのでフォローできる相談がそのままになっている可能性があるのが課題です。

開催日・場所	第 2 木曜日 障害者ふれあいセンター
時 間	13 時 00 分～15 時 00 分 (10 回開設)
相 談 員	弁護士
相談利用者	延べ 27 名

(3) 生活福祉資金等貸付相談

《事業の概要》

高齢者世帯や障がい者世帯、低所得者世帯に子どもの学費や離職してしまった際の生活費などの資金を貸付することで世帯の自立を支援しています。主管は兵庫県社会福祉協議会ですが、身近な各市町社協が窓口対応することで、継続的な相談見守りを行っています。

《現状と課題》

資金の貸付可能の有無に限らず、経済的課題を抱える方の相談に応じています。そんな中で、貸付の資金種類は多岐に渡るものの、実際の申込に至るのは教育支援資金（教育費）と緊急小口資金の 2 種類のみというのが現状です。また相談自体も件数が多い訳ではなく、本資金の広報面で課題があります。

- ・生活福祉資金における相談実人数 24名

(内、新型コロナウイルス特例貸付の相談 3月の実人数 4名)

- ・生活福祉資金における貸付相談対応件数

※ ()内は、相談対応件数の内、新型コロナウイルス特例貸付の相談対応件数。

相談方法	相談元	相談対応件数
電話によるもの	借入希望者・借受人等	47件(6件)
	関係機関	83件(4件)
来訪によるもの	借入希望者・借受人等	63件(5件)
	関係機関	5件(0件)

(4) その他の相談

面接 456回

電話相談受付 562回

6 福祉教育推進事業について

(1) 福祉教育出前講座

《事業の概要》

福祉への理解と関心を高め、子ども達の思いやりの心を育てていく為に出前講座を行っています。講演会や車いす体験など学校のご要望に応じて調整を行います。

《現状と課題》

天満東小学校よりインスタントシニア体験の依頼があり実施しました。小学生で体験するのは初めてでしたが、みなさん積極的に取り組んでいました。

加古小学校	5月29日	6年生 44名	障害者ふれあいセンター見学
	5月29日	6年生 44名	車いす体験
稲美中学校	11月5日	1年生 128名	福祉講座
天満東小学校	11月28日	4年生 55名	インスタントシニア体験
天満小学校	12月2日	5年生 126名	車いす体験

(職員が出向いて福祉についての講義)

(2) 福祉教育推進事業指定校活動報告

《事業の概要》

福祉への理解と関心を高め、子ども達の思いやりの心を育てていく為の学習を支援する事業です。毎年、町内の小中学校（全校）、保育園幼稚園（1園）に助成を行っています。

《現状と課題》

各校で様々な取り組みを企画、実施していただき、実施状況を報告書にまとめて年度末に提出いただいております。各校ごとに特色ある内容で実施しており、園児や児童生徒が福祉に触れ合う機会の一助になっている様子が伺えます。

稲美中学校	<ul style="list-style-type: none">■七夕交流会<ul style="list-style-type: none">・いなみ野特別支援学校中学部との交流■地域との交流会<ul style="list-style-type: none">・吹奏楽部がまつりで交流■福祉体験学習<ul style="list-style-type: none">・稲美町社会福祉協議会より認知症や高齢者の生活について学ぶ・稲美町内の福祉施設へ訪問、交流・インスタントシニア体験（高齢者疑似体験装具を装着、理解促進）■職業講話<ul style="list-style-type: none">・12名の講師による講話
稲美北中学校	<ul style="list-style-type: none">■年間定期活動<ul style="list-style-type: none">・生徒会厚生委員会による老人福祉施設訪問■吹奏楽部<ul style="list-style-type: none">・町内福祉施設にてコンサート・さくらウォーキング天満・白寿苑コンサート・さくらウォーキング加古・加古小学校区異世代交流会・天満地区ふるさとまつりにて演奏・加古地区ふるさとまつりにて演奏・天満第1、第2放課後児童クラブサマーコンサート・北新田公民館サマーコンサート・東部隣保館サマーコンサート・天満小学校区子ども会イベント・コスモス畑コンサート・秋のコンサート（稲美野荘園、六軒屋）

	<ul style="list-style-type: none"> ・加古幼稚園ミニコンサート ・ふれあい収穫祭ゲスト演奏 ・いなみ冬景色オープニング演奏 ・高砂市肢体不自由児親の会クリスマス会 ・社会福祉協議会クリスマスコンサート
加古小学校	<ul style="list-style-type: none"> ■福祉委員会活動（通年実施） <ul style="list-style-type: none"> ・アルミ缶収集（アルミ缶回収の収益を稲美町社協へ寄附） ■1年生 <ul style="list-style-type: none"> ・児童の祖父母との交流 ・幼稚園と交流 ■2年生 <ul style="list-style-type: none"> ・1年生と交流（校内体験） ・幼稚園児、保育園児と音楽交流 ■3年生 <ul style="list-style-type: none"> ・文化の森やさしさ発見隊（バリアフリーについて考える） ・地域住民と交流（田植え、稲刈り体験） ・障害理解の学習（盲導犬とのふれあい、点字学習体験） ■4年生 <ul style="list-style-type: none"> ・点字学習体験 ■5年生 <ul style="list-style-type: none"> ・いのちの話（沼田クリニック院長の話） ■6年生 <ul style="list-style-type: none"> ・車椅子体験 ・稲美町社会福祉協議会より障害者福祉についての話 ■すぎのこ学級、たけのこ学級、そよかぜ学級 <ul style="list-style-type: none"> ・4年生との交流（クイズや、清掃を通じて交流） ・他校特別支援学級児童生徒との交流（遠足、バス旅行、クリスマス会を通じて交流）
母里小学校	<ul style="list-style-type: none"> ■体験活動（トマト名人の指導の下、2年生が栽培） ■田植え～稲刈り（おはぎ作りまでを3年生が実施） ■職員研修 <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員懇談会 ・兵庫県人権教育大会東播磨大会 ■老人クラブとの交流会（グラウンドゴルフをしながら6年生が交流） ■学習発表会（家族や地域住民を招いて全校生が実施） ■芸術鑑賞会（母里幼稚園、母里保育園児を招待）

	<ul style="list-style-type: none"> ■健康安全セミナー（禁煙の正しい知識について6年生を対象に学習） ■稲同協研究大会（教職員参加） ■6年生を送る会（全校生） ■くすのき、こすもす、わかくさ学級との交流（学校全体で関わりを深め、全校生と給食交流） ■じんけんわくわくスクール ■いなみ野特別支援学校との交流（2年・5年）
天満小学校	<ul style="list-style-type: none"> ■お年寄りといっしょに <ul style="list-style-type: none"> ・短歌、戦争体験の話等を通じてお年寄りと交流 ■車椅子体験 ■点訳体験学習 ■盲導犬教室 ■お話会 ■高齢者訪問（花、千羽鶴、手紙を持ち、校区内の高齢者宅を訪問） ■音楽鑑賞会（オペラ歌手の歌とピアノ演奏を鑑賞） ■禁煙教室（6年生喫煙の害について学ぶ） ■特別支援教育交流活動（3年生いなみ野特別支援学校との交流） ■環境学習（自然環境について生態など学ぶ） ■外国語活動（ALTと外国語を学ぶ） ■食育（花や野菜を栽培し農家との交流） ■ボランティア活動（通年で毎週金曜日朝に実施） <ul style="list-style-type: none"> ・アルミ缶や古紙回収の収益寄付
天満東小学校	<ul style="list-style-type: none"> ■高齢者との交流 <ul style="list-style-type: none"> ・笛に親しもう ・琴を奏でよう ・民族楽器に親しもう ・合唱を楽しもう ・平和への願い（語り部による原爆体験を聞く） ■いなみ野特別支援学校との交流 <ul style="list-style-type: none"> ・学年交流（ゲームで交流） ■福祉体験学習 <ul style="list-style-type: none"> ・インスタントシニア体験 ・いのちの教室 ・車椅子体験、車椅子当事者の講話 ・手話体験 ・盲導犬教室

	<p>■思いやり、命を大切にする心を育む活動（通年実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花、野菜等の栽培 ・生き物の飼育 ・特別支援学級との交流給食
<p>天満南小学校</p>	<p>■福祉体験学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜栽培体験（特別支援学級の児童が体験） ・琴体験 ・陶芸教室 ・「見て知る盲導犬」出張講座 <p>■高齢者との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会（1、2年生が高齢者と玉入れ） ・学習発表会 ・なんなんフェスタ（老人クラブ、保護者、地域住民と交流） ・どんど大会（保護者、地域住民と交流） ・昔遊び交流（老人会の方とけん玉、コマ回し等をして交流） ・高齢者との交流（訪問）（花、手紙を届ける） ・感謝の集い 中止 <p>■体験活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルミ缶収集 ・ペットボトルのふた収集 ・芸術鑑賞会 ・募金活動（赤い羽根共同募金） ・1日体験入学（来年度新入生と、現1年生が図工等を通じて交流） ・6年生を送る会 中止 ・交流給食 <p>■環境整備奉仕活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子で校内美化活動
<p>母里幼稚園</p>	<p>■親子体操</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子で一緒に楽しめるふれあい体操 <p>■セラピー犬とのふれあい体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セラピー犬を通してかわりや思いやりの気持ちを学ぶ <p>■ふれあい野菜栽培と収穫や季節の花植え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方から苗植えや栽培などを学ぶ <p>■敬老参観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祖父母と歌やふれあい遊びで交流 <p>■クリスマス会</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統文化お茶の作法を学ぶ ■ 絵本の読み聞かせの会 ・ ボランティアの読み聞かせ、人形劇鑑賞
--	--

(3) 実習生受入れ

月 日	受入人数	備 考
8月8日～9月12日	1名	武庫川女子大学
8月9日～9月12日	1名	神戸学院大学

(4) トライやるウィーク受入

月 日	受入人数	備 考
6月3日～6月7日	延27名	稲美中学校4名、稲美北中学校7名

7 ボランティアセンター事業の推進

(1) ボランティアコーディネート

《事業の概要》

住民とボランティアをつなぐお手伝いをしています。どんな分野でいつ活動をしたいのか、ボランティアコーディネーターがお話をうかがい、その方に合った活動をご紹介します。

《現状と課題》

口コミや広報を見た方の参加者が増えています。活動が合わない方もいますが、その際は他のボランティア活動の案内をするなどして対応しています。ひとつのボランティア活動から他のボランティアに関心を持っていただき、いくつかの活動に協力していただく方もあります。

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため3月より障害者ふれあいセンターを含む町立公共施設利用が中止となりました。施設を利用するボランティアグループは活動が中止となっています。また、施設を利用しないグループも活動を中止、縮小しています。

70件（新規登録30名）情報提供希望者含

(2) 活動相談、助言等

ボランティア相談

94回（来所者 49名）

(3) お買い物ツアー

《事業の概要》

買い物困難な方を対象としたお買い物ツアーを企画しました。町内在住の75歳以上の独居、あるいは高齢夫婦世帯等自らの外出手段のない方が対象。家から集合場所の社会福祉協議会事務所までは、運転ボランティアによる送迎、お店まではマイクロバスを利用。

《現状と課題》

買い物困難な方を対象とした買いものツアー。昨年に続けて参加された方もあり、買い物後はみなさんお茶をのみながらおしゃべりしていました。買い物だけでなく参加者同士の交流をはかることもできました。

日にち	内容	場所	参加者
10月10日	外出手段がない方を 対象とした お買いものツアー	イトーヨーカドー 明石店	利用者4名、ボランティア4名
11月21日			利用者3名、ボランティア4名

(4) ボランティアスクール

《事業の概要》

ボランティア活動経験のない方、初心者にはボランティア活動体験をする機会を提供しています。体験を通して地域に生きづらさを抱える方がいらっしゃることに、誰かのために活動されるボランティアさんがいることを知り、支えあう地域づくり、ひとりぼっちを作らない地域をめざす活動について知っていただきたいと思います。

《現状と課題》

複数の講座にお申込みいただいている方もいます。体験のみで終わっており、ボランティア活動につなげられないのが課題です。その方にあった活動を調整できるよう情報提供に努めたいと思います。

■小学生の部 (延べ参加者 27 名、協力ボランティア 17 名)

日にち	時間	内容	場所	参加者
7/30 (火)	9:30～ 11:30	絵本の点訳体験 (点訳サークルすみれ)	障害者ふれあい センター	2 名 協力 v 7 名
7/31 (水)	13:30～ 15:00	車椅子体験 (コスモスの会)	加古福社会館	14 名 協力 v 7 名
8/1 (木)	10:00～ 11:30	切り絵で水族館 (有志ボランティア)	障害者ふれあい センター	11 名 協力 v 3 名

■小学生・中高生～一般の部

(延べ参加者 47 名、延べ行事参加者 104 名、協力ボランティア 69 名、実習生 4 名)

日にち	時間	内容	場所	参加者
7/25 (木)	10:00～ 12:00	要約筆記 (ひだまり)	障害者ふれあい センター	5 名 協力 v 6 名
7/25 (木)	13:30～ 14:30	こけ玉づくり (花一輪まちづくりの会)	障害者ふれあい センター	11 名 協力 v 11 名
7/26 (金)	10:00～ 12:00	ゆかた着付け教室 (前結び藤の会)	加古福社会館	1 名 協力 v 7 名
8/1 (木)	10:00～ 12:00	手話体験 (手話サークル「いなみ」)	障害者ふれあい センター	17 名 協力 v 15 名
8/1 (木)	13:00～ 15:00	ハンドベル体験 (珍ちくりん劇団)	なんなん 広場	1 名 協力 v 15 名
8/2 (金)	10:00～ 12:00	朗読体験 (稲美ぼっかぼかグループ)	いきがい創造 センター	3 名 協力 v 3 名
8/6 (火)	10:00～ 11:30	傾聴将棋 (傾聴ボランティア陽だまりの会)	障害者ふれあい センター	3 名 利用者 3 名 協力 v 7 名
8/20 (火)	9:30～ 12:00	わくわくスポーツ交流大会 (社協 実習生)	加古福社会館 きらめきホール	3 名 参加者 104 名 実習生 2 名
8/23 (金)	13:30～ 15:00	歌謡ボランティア体験 (POP スター)	稲美苑	3 名 協力 v 5 名 実習生 2 名

※8/2 子育て体験は定員に満たない為中止

(5) 各種養成講座の実施

- ① 要約筆記啓発講座
定員に満たないため中止

- ② ボランティア講座（オープンかふえの中で実施）

月 日	内 容	場 所	参加者
4月12日	コミュニケーション麻雀 講師 入江政行氏	障害者ふれあい センター	7名
5月10日	ウクレレかふえ 有志ボランティア	障害者ふれあい センター	13名
6月7日	トライやる中学生 講師 らくちん座	障害者ふれあい センター	7名
7月12日	三線かふえ 講師 あかばなー	障害者ふれあい センター	17名
9月13日	ハーモニカ演奏 トレモロカッコー	障害者ふれあい センター	15名
10月11日	大正琴かふえ 演奏 和みの会	障害者ふれあい センター	12名
11月8日	「くすくす」コンサート	障害者ふれあい センター	15名
12月13日	ちぎり絵 講師 工藤雅子氏	障害者ふれあい センター	16名
1月10日	ぜんざいかふえ	障害者ふれあい センター	7名
2月14日	ハンドベルかふえ ポコ ア ポコ	障害者ふれあい センター	13名
3月13日	歌謡かふえ POP スター	障害者ふれあい センター	中止

参加者 122名

- ③ 手話入門講座

月 日	場 所	参加者数
9月17日～2月25日 (全20回)	障害者ふれあいセンター 多目的室	延139名

④ 傾聴ボランティア・地域活動者養成講座

月 日	内 容	講 師	参加者
1月27日	コミュニケーションの基本	心理カウンセラー 稲松 由佳氏	6名
2月3日	傾聴の技術		6名
2月10日	稲美町の高齢者の現状	地域包括支援センター 森本 実佳氏	7名
	認知症サポーター養成講座	認知症キャラバンメイト	
2月17日	ボランティアがサードプレイスに	生涯学習サポート兵庫 山崎 清治氏	25名
2月27日	傾聴ボランティア体験	JA はなかご	7名
	活動先紹介	稲美町傾聴ボランティア	

(参加人数7名 延べ人数51名)

(6) 傾聴ボランティアグループ活動の支援

《事業の概要》

稲美町内の高齢者宅や施設等に出向き、いろいろなお話を聴きながら、一緒におしゃべりする活動を通じて、ひとりでも多くの方に心安らぐ時を提供できることを目的としています。

《現状と課題》

最初に依頼があった際には自宅にひきこもりがちだった方も傾聴活動を重ねるうちに少しずつ明るさを取り戻しています。話をするのが苦手な方も将棋や絵を通して会話を楽しまれています。

- ・傾聴ボランティア人数 25名
- ・傾聴ボランティア派遣延べ人数 923名 418回
- ・定例会の実施 11回
- ・役員会の実施 11回

傾聴ボランティア活動状況 (延べ人数と活動回数)

対象者 (施設)	活動回数	ボランティア 延べ人数
施設傾聴 (稲美苑、サンライズ、宅老所憩い のとき ひなたんぼ、JA はなかご)	86 回	325 名
他ボランティア協力 (稲美苑音楽リハ、 エコクラブ、詩吟、紙芝居)	174 回	273 名
傾聴将棋	42 回	78 名
個人傾聴 (対象は 12 件)	116 回	247 名
計	418 回	923 名

(7) ふれあいまつり

5 月 3 日

模擬店コーナー：駄菓子詰め合わせの販売 (250 個) 売上は善意銀行に寄付

福祉体験コーナー：車椅子体験 36 名体験

ボランティア 8 名

(8) いなみ大池まつり

8 月 10 日 駄菓子詰め合わせの販売 (300 個) 売上は共同募金に寄付

(9) 交流会

視覚障害者交流会

月 日	内 容	場 所	参加者
9 月 4 日	スポーツ交流会	障害者ふれあいセンター	5 名 協力 v 3 名 実習生 2 名
1 月 23 日	視覚障害者バス旅行	織物工房見学 グリコピア見学	7 名 協力 v 5 名
2 月 26 日	ピザづくり	加古福社会館	中止：新型コロナ ウイルス感染 拡大防止のため

参加者延べ 12 名 協力 v 8 名 実習生 2 名

聴覚障害者交流会（耳の日のつどい）

月 日	内 容	人 数
3月29日	手をつむぐ ～手話の魅力～	中止：新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(10) ボランティア連絡会の開催

■連絡会会議

月 日	内 容
4月16日	第1回ボランティア連絡会 前年度決算報告と事業報告、今年度予算と事業計画、 スポーツ交流、ふれあいまつり、トライやるウィークについて
6月18日	第2回ボランティア連絡会 夏休みボランティアスクール、社協福祉ボランティアまつり等について
9月10日	第3回ボランティア連絡会 社協福祉ボランティアまつり等、バス研修、交流会について
1月21日	第4回ボランティア連絡会 社協福祉ボランティア祭り、バス研修、交流会等について報告 啓発講演会、来年度事業計画について

ボランティア連絡会の構成

グループ数 25 グループ

会員数 348 名

■各ボランティア総会

月 日	内 容	場 所	人 数
2月19日	給食ボランティア代表者会議	いきがい創造センター	7名
3月25日	運転ボランティア会議	障害者ふれあいセンター	中止
3月26日	手話サークル総会	障害者ふれあいセンター	中止

(11) ボランティア登録者

ボランティア連絡会の構成

グループ数 25 グループ

会員数 348 名

ボランティアセンター グループ数 5グループ
会員数 77名
個人 9名

(12) ボランティア保険への加入手続き

加入者数：1,615人

ボランティア保険の適用を申請された方＝社協関係者 3人
外部団体 1人

8 啓発活動

(1) 広報紙等の発行 毎月

(2) 各種ボランティア募集チラシの発行

1	給食調理ボランティア
2	花一輪まちづくりの会ボランティア
3	おもちゃライブラリーボランティア
4	運転ボランティア「わかば」ボランティア
5	要約筆記ボランティア
6	朗読ボランティア
7	どんまい!!れんげ草ママの会 イベントサポートボランティア
8	いきいきサロンボランティア
9	社協オープンかふえ
10	傾聴ボランティア
11	社協福祉ボランティアまつりボランティア

9 その他

(1) 福社会費 4,170,800 円

《事業の概要》

住民を会員として町全体の福祉活動をすすめる社会福祉協議会の運営維持経費及び相談事業、ボランティア関係事業、地域福祉推進事業を支える会費です。

《現状と課題》

自治会を通じて依頼させて頂くことで多くの世帯にご協力をいただいています。しかしながら、自治会の負担面から一括での納付が進んでいることもあり世帯個々が福社会費を納めている実感が無いのが現状です。住民を会員とする社会福祉協議会であること、その活動財源に住民が協力をしていることについての広報が行き届いていないことが課題です。

(2) 共同募金

《事業の概要》

社会福祉法に規定され、厚生労働大臣の告示により全国一斉に展開される募金運動です。地域福祉を進めるための財源として、社会福祉協議会のみならず、ボランティアグループや障害者団体等の活動費として配分されます。

《現状と課題》

住民や企業・商店等多くのご協力とその募金を集めて頂く自治会、福祉委員、民生委員児童委員など多くの募金ボランティアのご尽力によって多額の募金を頂いています。

しかしながら全国的な傾向ではありますが、年々募金額が減少しています。多くの方に募金の意義をご理解頂けるような広報の在り方が課題です。

目標額 5,749,000 円 達成率 91.7%

内 容	金 額
戸 別 募 金	3,957,752 円
学 校 募 金	111,115 円
法 人 募 金	1,012,500 円
職 域 募 金	107,865 円
街 頭 募 金	24,349 円

イベント募金	38,000 円
その他	22,128 円
合計	5,273,709 円

令和2年度稲美町へ配分金として 4,662,000 円

(3) 歳末たすけあい運動

《事業の概要》

「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに、共同募金の一環として行われる募金運動です。経済的支援が必要な方への配分や火災などに罹災された方へ配分されます。

《現状と課題》

福祉会費及び共同募金と同様、自治会を通じて依頼させて頂くことで多くの方のご協力を頂いています。用途については大部分を歳末配分金が占めており、対象者の推薦を民生委員児童委員にお願いしています。しかしながら、個人情報や経済的支援の側面から対象者の抽出が難しく、十分な配分が行き届いていないのが現状です。

収入内訳

内 容	金 額
戸別募金	1,247,100 円
街頭募金	30,000 円
その他	31 円
合計	1,277,131 円

支出内訳

内 容	金 額
特別支援学級・学校修学旅行助成	200,000 円
火事見舞	50,000 円
緊急生活支援	1,497 円
歳末配分金	650,000 円
保育園助成金	304,500 円
事務費	34,276 円
次年度繰越金	36,858 円
合計	1,277,131 円

*歳末助け合い配分：90 世帯 190 人へ

(4) 善意銀行

《事業の概要》

住民の「世の中の役に立ちたい、困っている人を助けたい」という善意を生かすために現金、物品等の寄付をお預かりして、これを社会福祉団体や生活にお困りの方などに払い出し、地域福祉の推進のための橋渡しや個別支援をする仕組みです。

《現状と課題》

粗供養として善意銀行に寄付を下さることが一般的であった時代に比べると募金総額は大きく減少してきていますが、依然として、地域における住民や団体、企業等の寄付窓口として多くの方々にご協力を頂いています。今後、身寄りのない方の善意の拠り所としての遺贈等広く寄付を受け付けられる仕組みの整備が課題です。

預託金等

預託金	3,184,007 円	68 件
葉書	36,778 円相当	9 件
切手	7,748 円相当	4 件
お米	580 k g	14 件
車椅子	3 台	2 件
文房具	多数	2 件
タオル	185 枚以上	1 件
ストーブ	1 台	1 件
食料関係	123.3 k g 以上	2 件

※件数の重複有り。

指定払出等

払出先等	金額	物品
生活困窮者（12人）	349,468 円	お米、食品
生活困窮者返済分（10人）	△304,995 円	
火事見舞	10,000 円	
稲美町手をつなぐ育成会	10,000 円	
稲美町つくしとすぎなの会	20,000 円	
こばと園	10,000 円	
らいふサポートくるみ	10,000 円	
どんまい！！れんげ草ママの会	9,000 円	

中央共同募金会（熊本災害義援金）	10,000 円	
旅人へ	500 円	
合 計	123,973 円	